

関西学院初等部 1年 国語科 シラバス 〔保護者用〕

◇1年国語科の目標

- ・相手の考えや願いを感じ、楽しみながら言葉を使いお互いに理解し合えるようにする。
- ・大事なことを落とさずに聞いたり、書かれている事柄の順序や場面の様子に気づきながら読んだり、相手に応じて順序を考えながら表現したりできるようにする。
- ・言葉の魅力に気づくことができるようにする。
- ・伝統的な言語文化にふれながら、文語の調子に親しむ。

◇1年国語科の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期	<p>○はる</p> <p>○あかいこえで</p> <p>○どうぞよろしく</p> <p>○おはなしよんで (風の時間)</p> <p>○うたにあわせてあいうえお</p> <p>○ふたりでおはなし</p> <p>○あかいとりことり</p> <p>○はなのみち</p> <p>○わけをはなそう</p> <p>○なぞなぞあそび</p> <p>○あいうえおであそぼう</p> <p>○くちばし</p> <p>○なんていったらいいのかな</p> <p>○おさるがふねをかきました</p> <p>○こんないしをみつけたよ</p> <p>○おむすびころりん</p> <p>○は・を・へをつかおう</p> <p>○すきなもの、なあに</p> <p>○おおきなかぶ</p> <p>○ほんはともだち (風の時間)</p> <p>○かけるようになった</p> <p>○ひらがなあつまれ</p> <p>○期末テスト ※書写</p>	<p>○絵を見て、先生の問いに答えて見つけたことや想像したことなどを話す。</p> <p>○丁寧な言葉と普通の言葉とのちがいに気をつけてあいさつをする。</p> <p>○自分の名前を書いて友達と交流し、書いたものが伝わる喜びを知る。</p> <p>○先生が読むお話を聞き、お話の世界を楽しんで興味を広げる。</p> <p>○声に出して楽しく読み、「あいうえお」に親しむ。</p> <p>○絵を見て、「○○が△△。」という文や濁音のある言葉を書いたり読んだりする。</p> <p>○リズムや繰り返しを楽しみながら、楽しく元気に音読する。</p> <p>○絵や文章から場面を想像したり、声に出して読んだりしてお話を楽しむ。</p> <p>○顔の表情から気持ちを想像したりそのわけを考えたりする。</p> <p>○長音と助詞「は」を正しく表記して文を書く。</p> <p>○言葉を楽しみながら音読し、平仮名を正しく読んだり書いたりする。</p> <p>○説明の順序や内容を考えながら読む。</p> <p>○言葉は人と人をつなぐことを知り、相手や場面に応じて言葉を考え、話し合う。</p> <p>○言葉のまとまりごとに意味を考えながら、詩を楽しく音読する。</p> <p>○写真を見て特徴を見つけたり、自分だけの石を拾ってきて名前をつけたりする。</p> <p>○場面の様子を想像しながら読み、声に出して読んで言葉の響きやリズムを楽しむ。</p> <p>○助詞を正しく使って文を書く。</p> <p>○自分の好きなものとその理由を文に書く。口頭での正確なやり取りを楽しむ。</p> <p>○音読したり場面の様子を想像したりして、繰り返しながら高まっていくお話の展開や言葉のリズムを楽しむ。</p> <p>○先生の読み聞かせを楽しんだり、好きな本を探して読んだりする。</p> <p>○絵日記や手紙の書き方を理解し、語と語、文と文のつながりに注意して書く。</p> <p>○教科書に隠れている言葉を探し、平仮名を正しく読んだり書いたりする。</p>
二 学 期	<p>○いちねんせいのうた</p> <p>○おまなしたのしもう・ゆうだち</p> <p>○はなそう、きこう</p> <p>・おはなしきいて</p> <p>○かんじでかこう・かざとかんじ</p> <p>○みんなでよもう・みいつけた</p> <p>○かたかなをみつけよう</p> <p>○たのしくつかおう・かんじのはなし</p> <p>○こえにだしてよもう</p> <p>・くじらぐも</p> <p>○よく見てかこう</p> <p>・しらせたいな、見せたいな</p> <p>○ことばであそぼう</p> <p>○くらべてよもう</p> <p>・じどうしゃくらべ</p> <p>○まのいりようし</p> <p>○むかしばなしがいっぱい</p> <p>○日づけとよう日</p> <p>○かるたをつくろう</p>	<p>○群読など読み方を工夫しながら音読を楽しむ。</p> <p>○だれが何をしたかを中心にとらえ、お話の内容をつかむ。</p> <p>○みんなに話したいことを決め、話の順序や丁寧な言葉遣いに気をつけて話す。</p> <p>○聞くときのマナーについて考え、友達の話をしっかり聞く。</p> <p>○教材の歌をリズムカルに音読し、数を表す漢字や色々な数え方を正しく書く。</p> <p>○教材文を読んだり挿絵を見たりして、自分の経験と結び付けたり、「いきものカード」作りをする。</p> <p>○片仮名の言葉を正しく読んだり書いたりする。</p> <p>○漢字の成り立ちを理解し、習った漢字を使って文を作る。</p> <p>○登場人物や場面の様子を想像したり、その様子が現れるように音読したりして、物語を楽しむ。</p> <p>○身近な生活の中から友達や家族に知らせたいことを見つけ、分かりやすい文を書く。</p> <p>○言葉遊びを楽しみながら、文字を組み合わせると言葉が生まれることを知る。</p> <p>○自動車の「つくり」と「はたらき」を確かめながら読む。</p> <p>○自分が調べた自動車について「しごと」と「つくり」について説明する文章を書く。</p> <p>○昔話の読み聞かせを楽しむ。</p> <p>○昔話や伝承などに興味を持ち、自分で探して友達に発表する。</p> <p>○日づけの歌やよう日歌の読み方や書き方を正しく理解し、楽しく唱える。</p> <p>○冬の言葉を集め、かるた作りをする。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・あつまれ、ふゆのことば ○期末テスト ○本はともだち・ずうっと大すきだよ ※書写 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の様子や登場人物の様子を想像しながら読み、物語を楽しむ。 ○文と文のつながりに注意しながら紹介したい本のカードを書き、発表しあう。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○てんとうむし ○ことばって、おもしろいな・ものの名まえ ○おみせやさんごっこをしよう ○かたかなのかたち ○おはなしをたのしもう <ul style="list-style-type: none"> ・たぬきの糸車 ○ことばをたのしもう ○これは、なんでしょう ○ちがいをかんがえてよもう <ul style="list-style-type: none"> ・どうぶつ赤ちゃん ○にているかん字 ○すきなところをさがしてよもう <ul style="list-style-type: none"> ・だってだつてのおばあさん ○おもいだしてかこう <ul style="list-style-type: none"> ・いいこといっぱい、一年生 ○学年末テスト ※書写 	<ul style="list-style-type: none"> ○話しかけるように読むなど工夫して音読する。 ○ものの名前関係（上位語・下位語）について理解する。 ○お店作りの計画を立て、お店屋さんごっこを楽しみながら上位語・下位語について理解を深める。 ○形に注意して片仮名を書く。 ○語のまとまりや言葉の響きを考えながら音読することができる。 ○登場人物の行動を中心に、場面の様子に注意しながら想像を広げ、物語を楽しむ。 ○濁音の入った詩の面白さを味わったり、早口言葉を楽しんで読む。 ○クイズを楽しみながら、出題・質問・応答のやり取りの仕方を確かめる。 ○三つのどうぶつ赤ちゃんについて比べて読み取る。 ○他の動物の赤ちゃんについて調べ、書いて友達に知らせる。 ○形の似ている漢字に注意して書く。 ○場面ごとの様子や登場人物の気持ちを読み取り、お話の好きなところをみつける。 ○好きな部分とそのわけを文章で書き、交流して感想が人によって違うことを感じる。 ○一年間の思い出から書きたいことを見つけ、その時の様子を思い出しながら読み手に分かりやすいように書く。

◇指導の工夫

<読書活動の充実>

- ・低学年では、楽しんで読書をする習慣を身につけることが大切です。そこで、メディアセンターを大いに活用し、自分の興味・関心に沿った、やさしい読み物を数多く読むように指導を行っていきます。

<情報伝達力の育成>

- ・クイズや劇・紙芝居など様々な発表を体験させ、表現すること自体が楽しいということを大いに感じ取らせながら、情報伝達の基礎となる力を養っていきます。

<基礎基本の徹底>

- ・低学年では、書くことに関しては、ノート指導や書写などを通して、文字を美しく丁寧に書く習慣をつけるようにしていきます。また、読むことに関しては、音読を重視し、授業で行うことはもちろん、音読カードを用い、家庭学習においても音読を継続し、読むことが習慣となるように指導を進めます。

◇評価観点

- ・国語に対する関心もち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとしているか。
- ・相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないで聞いたりしているか。
- ・経験した事や想像したことなどについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書いているか。
- ・書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づきながら読んでいるか。
- ・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解しているか。
- ・書写では、文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書いているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『こくご・一上・かざぐるま』『こくご・一下・ともだち』（光村図書）
- ・『国語デジタル教科書1年』（光村図書）『わくわく古典教室』
- ・ワークシート 等、

◇保護者のみなさまへ

- ・ひらがな、カタカナの学習の後、80字の漢字を学習します。姿勢よく座り、正しく鉛筆を持ち、筆順に従って丁寧に文字を書くことを重視し指導をしていきますので、家庭学習でもきちんと意識して取り組んでいる様子が見られましたら、大いにほめてあげてください。学習した漢字は確実に覚え、文の中で正しく使えるように繰り返し練習していきます。家庭でも取り組むようはげましてください。
- ・姿勢を正し、口をしっかりと動かしてはっきりと発声する習慣をつけることも大切です。家庭での音読練習でもしっかり声が出ていたら、ほめてあげてください。毎日積み重ねることで、語や文としてのまとまりに気をつけ、リズムにのって音読することができるようになります。
- ・優れた作品に親しむことで日本語の響きや言葉のもつリズムを楽しみ、語彙が増え、表現力に生かされていきます。言葉の世界に浸らせ、言葉遊びを多く取り入れることで、想像力や読解力、言語感覚が養われます。家庭でも身の回りの言葉集め、しりとり、なぞなぞなど言葉遊びゲームと一緒に楽しんでください。

関西学院初等部 2年 国語科 シラバス 〔保護者用〕

◇2年国語科の目標

- ・相手の考えや願いを感じ、楽しみながら言葉を使い、お互いに理解し合えるようにする。
- ・大事なことを落とさずに聞いたり、書かれている事柄の順序や場面の様子に気づきながら読んだり、相手に応じて順序を考えながら表現したりできるようにする。
- ・言葉の魅力に気づくことができるようにする。
- ・昔話や神話・伝承などに親しむ。

◇2年国語科の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○音読しよう・ふきのとう ○はるがいつぱい ○書くことをきめて、しらせよう <ul style="list-style-type: none"> ・今週のニュース ○読んでわかったことをまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ・たんぽぽのちえ ○かん字のひろば ○きろくしよう・かんさつ名人になろう ○きいてたのしもう <ul style="list-style-type: none"> ・いなばのしろうさぎ ○かたかなのひろば ○だいじなことをおとさずに話したりきいたりしよう・ともこさんはどこかな ○同じぶぶんをもつかん字 ○お話を読んで、かんそうを書こう <ul style="list-style-type: none"> ・スイミー ○漢字のひろば ○まとまりに分けてお話を書こう・お話の作者になろう ○うれしいことば ○ほんはともだち <ul style="list-style-type: none"> ・黄色いバケツお話の国の友だち ○かん字のひろば ○夏がきた ○期末テスト ※作文指導 ※書写 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の様子について、人物の様子や会話を中心に想像を広げ、工夫して音読する。 ○春に関わる身近なものを表す言葉を探し、友達と話し合うことができる。 ○友達に知らせるために、身近な出来事について、様子や自分の気持ちについて書く。書いたものを読みあい、感想を伝えあう。 ○時間の順序や理由づけを表す言葉に着目し、様子やわけなどを考えながら説明的文章を読む。 ○絵に描かれた町の様子を想像して、1年生で習った漢字を用いて文を書く。 ○対象を丁寧に観察し、気づいたことや分かったことを集め、相手にわかるよう工夫して書く。 ○神話や身近な昔話に興味をもち、人物の行動を中心に場面に様子を想像しながら読み聞かせを聞き、内容や感想について話し合う。 ○かたかなの言葉を用いながら、主語・述語の整った文を書く。 ○大事なことを聞き落とさないように話したり聞いたりして迷子探しゲームをする。 ○漢字には同じ部分をもつものがあることを知る。 ○登場人物の行動や場面の様子などについて、想像を広げながら読んだり、声に出して読んだりして、お話を楽しむ。 ○挿絵から様子を想像し、習った漢字を使って文を書く。 ○絵を見て想像を広げ、「はじめ・中・おわり」のまとまりのあるお話を作る。 ○人をうれしい気持ちにする言葉の働きに気付き、うれしい言葉を言われた時のことやその時の気持ちについて書いて、発表しあう。 ○場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、感想を話し合う。 ○物語を読み、友達に向けて紹介文を書く。 ○絵に描かれている漢字や言葉を使って一週間の出来事を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ○夏にかかわる身近なものを表す言葉を探し、夏らしい言葉を使ってお便りを書く。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○こえに出して読もう・おおきなあれ ○はっぴょうしよう <ul style="list-style-type: none"> ・あったらいいな、こんなもの ○カンジーはかせの大はつめい ○ことばであそぼう ○読んで考えたことを書こう <ul style="list-style-type: none"> ・どうぶつ園のじゅうい ○音読げきをしよう・お手紙 ○主語と述語 ○かん字の読み方 ○秋の一日 ○しょうかい文をかこう <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのこと、知りたいな ○かたかなの広場 ○読んで、せつめいのしかたを考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・しかけカードの作り方 	<ul style="list-style-type: none"> ○話のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて詩を音読する。 ○自分がかんがえた「物」について、相手に分かるように、話す事柄や順序を考え、声の大きさや速さなどに注意して発表する。 ○クイズを通して漢字のつくりや熟語について確かめる。 ○平仮名を組み合わせて、意味のある言葉を作り、声に出して読む。 ○時間的な順序や事柄の順序を考えながら獣医の仕事やそのわけを読み取る。 ○学校の係の仕事や家の人に伝える文章を書く。 ○場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、表現の仕方を工夫して音読劇をする。 ○文や生活の中の主語・述語の関係を理解する。 ○漢字には色々な読み方をするものがあることを知る ○秋の様子を表す言葉や秋らしいものについて発表しあう。 ○友達の良いところを見つけ、構成を考えて友達を紹介する文章を書き、互いに発表したり感想を交換したりする。 ○片仮名の言葉をつかって、主語・述語の関係が整った文を書く。 ○教材文を読んでしかけカードを作り、わかりやすく説明している教材文の表現に気づく。

<p>○わかりやすくせつめいしよう ・おもちゃの作り方</p> <p>○図書館のひみつをさがろう ・きみたちは、「図書館たんていだん」</p> <p>○お話のじんぶつと自分をくらべて読もう ・わたしはおねえさん</p> <p>○かん字の広場</p> <p>○たのしい冬</p> <p>○期末テスト</p> <p>※作文指導 ※書写</p>	<p>○前教材での学習を生かし、絵を用いて手作りおもちゃの作り方について文章を書く。</p> <p>○メディアセンターの秘密を探り、地図を作ったり本の分け方や並び方について気づいたことを整理する。話す事柄の順序や丁寧な言葉遣いに気をつけて、気づいたことを発表する。</p> <p>○登場人物の行動や場面の様子から想像を広げながら読み、自分の経験と結び付けて感想を持つ。今の自分と過去の自分をくらべて、文章を書く。</p> <p>○習った漢字を用いながら、絵にかかれた数を表す言葉を使って問題を作る。</p> <p>○冬の伝統文化にかかわる言葉を知る。</p>
<p>三 学 期</p> <p>○詩をたのしもう・だれかしら</p> <p>○ことばについてかんがえよう ・ようすをあらわすことば</p> <p>○詩を書こう ・見たこと、かんじたこと</p> <p>○聞いてたのしもう・三まいのおふだ</p> <p>○知っていることとつなげて読もう ・おにごっこ</p> <p>○すすんで考えを出し合おう ・みんなでできよう</p> <p>○かん字の広場</p> <p>○なかまのことばとかん字</p> <p>○読んだお話をしょうかいしよう ・スーホの白い馬</p> <p>○ことばを楽しもう</p> <p>○文集を作ろう・たのしかったよ、二年生</p> <p>○学年末テスト</p> <p>※作文指導 ※書写</p>	<p>○話のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて詩を音読する。</p> <p>○さまざまな様子を表す言葉について知り、言葉への興味をひろげる。</p> <p>○オノマトペや比喩表現を使うよさに気づく。</p> <p>○詩を音読し、表現方法の工夫について考え、様子を表す言葉の使い方に注意して自分で詩を作り、発表したり感想を交流したりする。</p> <p>○読み聞かせを聞いて絵の中のお札を見つけ、昔話を楽しむ。</p> <p>○「おにごっこ」と自分の経験とを結び付け、知っていることや考えたことを発表し、他の遊びで工夫したことについて文章を書き、交流する。</p> <p>○せとさんたちがどのような話し合いをしているのか考える。</p> <p>○クラスで議題をきめて、互いの話をしっかりと聞き、話題に沿って話し合う。</p> <p>○習った漢字を用いて、主語と述語のつながりに気をつけて公園の様子を書く。</p> <p>○仲間の言葉や漢字を知る。</p> <p>○場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む。</p> <p>○「スーホの白い馬」で強く心にのこった部分を紹介する文を書く。</p> <p>○回文を読み、きまりを見つけ、回文作りを楽しむ。</p> <p>○二年生の思い出から書く事柄をきめ、書こうとする題材に必要な事柄を集め、楽しかったことの中心が明確になるように、「はじめ・中・おわり」の構成でひとまとまりの文章を書く。</p>

◇指導の工夫

<読書活動の充実>

- ・低学年のうちに、楽しんで読書をする習慣を身につけることが大切である。そこで、メディアセンターを大いに活用し、自分の興味関心に沿った、やさしい読み物を数多く読むように指導を行うようにする。

<情報伝達力の育成>

- ・クイズや劇・紙芝居など様々な発表を体験させ、表現すること自体が楽しいということを大いに感じ取らせながら、情報伝達の基礎となる力を養う。

<基礎基本の徹底>

- ・低学年では、書くことに関しては、ノート指導や書写などを通して、文字を美しく丁寧に書く習慣をつけるようにする。また、読むことに関しては、音読を重視し、授業で行うことはもちろん、音読カードを用い、家庭学習においても音読を継続し、間違いなく読む習慣をつけることができるようにする。

◇評価観点

- ・日常生活で用いる言葉に関心を持ち、意欲的に発表したり、仲良く話し合ったり、進んで文章を書いたり、読書を楽しもうとしているか。
- ・経験したことや思ったことなどを相手や場面に合わせて順序を考えて話したり、大事なことに着目して聞いたりしているか。
- ・経験したことや考えたことが読み手に正しく伝わるように、文の続き方や文字の丁寧さや正しさに注意して書いているか。
- ・登場人物や主人公の気持ちや情景、様子などを想像して音読したり、文の構成や大事なことに気づいて読んだりしているか。
- ・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解し、正しく用いているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『国語・二上・たんぽぽ』『国語・二下・赤とんぼ』（光村図書）・『国語デジタル教科書2年』（光村図書）『わくわく古典教室』等

◇保護者のみなさまへ

- ・二年生の国語科の学習では、声に出して読む活動に重きを置いています。学校はもちろんのこと、家庭での音読の機会を増やしていくことが大切になります。さまざまな機会をとらえて音読に耳を傾けて、温かい声かけをしてください。
- ・また、相手により伝わるように話すこと（順序立てて話す、大事なところに注目する など）も身につけたい力です。これも日々の生活の中で育っていく力です。家庭での会話を増やしたり、話を聞いた後に質問をして確かめたりという活動を通して、子どもたちは学習したことを日常生活で生かせるようになります。様々な方とお話する機会を設け、自信をつけていけるように声かけをよろしくお願ひします。
- ・二年生では160字の新しい漢字を学習します。漢字学習として読み・書きを練習しますが、普段の生活の中でも既習、未習に関わらず、漢字について興味・関心がもてるようご配慮ください。

関西学院初等部 3年 国語科 シラバス 〔保護者用〕

◇3年国語科の目標

- ・相手の考えや願いを受け止め、分かりやすく言葉を使いお互いに理解し合えるようにする。
- ・話の中心に気をつけて聞いたり、内容の中心をとらえながら読んだり、相手や目的に応じて、話題を考えながら表現したりできるようにする。
- ・言葉の魅力を感じられるようにする。
- ・短歌や俳句を音読し、文語の調子に親しむ。

◇3年国語科の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期	<p>○詩を楽しもう ・どきん ・いつも気をつけよう/つづけてみよう</p> <p>○音読しよう・きつつきの商売 ・ノートとなかよくなるよう・国語辞典の使い方</p> <p>○漢字の音と訓</p> <p>○春の楽しみ</p> <p>○しつもんをしたり、かんそうを言ったりしよう ・よい聞き手になろう・きちんとつたえるために</p> <p>○漢字の広場</p> <p>○読んで、かんそうをもとう ・イルカのねむり方 ・ありの行列</p> <p>○声に出して楽しもう</p> <p>○漢字の広場</p> <p>○ほうこくする文章を書こう・気になる記号 ・符号</p> <p>○聞いて楽しもう ・ばけくらべ</p> <p>○きせつの言葉 夏の楽しみ</p> <p>○読んで、考えたことを発表しよう ・海をかつとばせ</p> <p>○漢字の広場</p> <p>○用件や気もちがつたわるように書こう・手紙を書こう</p> <p>○本は友だち ・本は友だち/いろいろはこぼへど</p> <p>○期末テスト ※書写</p>	<p>○擬声語・擬態語・文末表現の響きやリズムから様子を想像し、それらが表れるよう声の調子をつけて音読します。</p> <p>○いろいろな音を売るきつつきのお話です。場面の様子を想像しながら読んだり、様子が分かるように声に出して読んだりする学習です。</p> <p>○漢字の音と訓について学習します。</p> <p>○春の行事や歌に興味をもち、そこから連想する言葉を交流します。</p> <p>○話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を言ったりする学習です。</p> <p>○絵を見て想像を広げ、二年生で習った漢字を使って文を書きます。</p> <p>○「段落」について知り、文章の組み立て（はじめ・中・おわり）を意識しながら読む方法を知る学習です。</p> <p>○言葉のまとまりや調子、響きを楽しみながら、声に出して読みます。</p> <p>○絵を見て想像を広げ、二年生で習った漢字を使って文を書きます。</p> <p>○身の回りにある生活雑貨などについているマークを集めて、報告し合う学習です。</p> <p>○昔話を聞いて楽しんだり、想像を広げたりする学習です。</p> <p>○夏の行事に興味をもち、気に入った言葉を交流します。</p> <p>○登場人物の性格や気持ちの変化、情景などを想像して読む学習です。</p> <p>○感じたことを話し合い、一人ひとりの感じ方に違いを知ります。</p> <p>○絵を見て想像を広げ、二年生で習った漢字を使って文を書きます。</p> <p>○「手紙の型」に書いてある4つの事柄を落とさないように、手紙を書きます。</p> <p>○本の選び方を知り、聞く人が読んでみたいと思う本の紹介の仕方を考えます。</p>
二 学 期	<p>○詩を楽しもう ・わたしと小鳥とすずと・みいつけた</p> <p>○話し合って決めよう ・わたしたちの学校行事/インタビュー</p> <p>○へんとつくり</p> <p>○秋の楽しみ</p> <p>○ローマ字</p> <p>○物語の感想をまとめよう ・ちいちゃんのかげおくり</p> <p>○漢字の広場</p> <p>○修飾語</p> <p>○せつめいのしかたを考えよう ・すがたをかえる大豆</p> <p>○れいをあげてせつめいしよう ・食べ物のみみつを教えます</p> <p>○声に出して楽しもう 一茶/百人一首など</p> <p>○漢字の広場</p> <p>○民話や物語の組み立て方を考えよう ・三年とうげ</p>	<p>○二つの似ているところや違うところを話し合い、心に残った言葉や表現に着目して好きな詩を選び、声に表して読みます。</p> <p>○自分たちの学校の行事の楽しさをだれに紹介したいのか話し合い、「わたしたちの学校行事をしょうかいする交流会を開こう」の学習計画を立てる学習です。</p> <p>○漢字のへんとつくりについての学習です。</p> <p>○秋の言葉を集め、「〇〇の秋」に当てはまる言葉を考えます。</p> <p>○身の回りのローマ字で書かれているものを知り、ローマ字の表記の仕方を学習します。</p> <p>○戦争時を描いた作品です。「場面」についてよく理解し、情景や登場人物の様子・心情を想像する学習です。</p> <p>○絵を見て想像を広げ、二年生で習った漢字を使って、文を書きます。</p> <p>○修飾語の役割を知り、主・修・述から成る文を書いたり読んだりします。</p> <p>○いろいろな食品に姿を変える大豆について書かれた説明文です。</p> <p>○中心となる語や文、段落の相互の関係に注意して文章を読みます。</p> <p>○分かりやすい説明に必要なことを話し合い、調べたことを例にあげて説明する文章を書きます。</p> <p>○言葉の調子や響きを楽しみながら、声に出して繰り返して読みます。</p> <p>○絵を見て想像を広げ、二年生で習った漢字を使って、文を書きます。</p> <p>○物語がどのように組み立てられているかを考えながら読みます。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○組み立てを考えて書こう 物語を書こう ○漢字の広場 ○言葉について考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・にた意味の言葉 ・反対の意味の言葉 ○冬の楽しみ ○期末テスト ※書写 	<ul style="list-style-type: none"> ○民話・昔話などの組み立てについて話し合い、図書館などで本を探して読みます。 ○絵を見て想像を広げ、二年生で習った漢字を使って、文を書きます。 ○設定を決め、物語の中心となる出来事から考えを広げたり、関係づけたりします。 ○国語辞典を使って意味の違いを調べながら「にた意味の言葉」や「反対の意味の言葉」の短い文を作って比べる学習です。 ○年末や年始の行事を思い出して冬らしい言葉を出し合い、冬の便りを書きます。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ○詩を楽しもう <ul style="list-style-type: none"> ・はしる しるしる・じゃがいも・雪 ○かるたについて知ろう ・かるた ○すじ道を立てて話そう ・しりょうから分かったことを発表しよう ○漢字の広場 ○ほうこく書を書こう ・本を調べて、ほうこくしよう・自分の言葉でまとめる ○カンジーはかせの音訓遊び歌 ○物語を読んで、しょうかいしよう <ul style="list-style-type: none"> ・モチモチの木 ○学年末テスト ※書写 	<ul style="list-style-type: none"> ○詩の形式や表現のおもしろさに気づき、声に出して読み、どんなところがおもしろいかを友達と交流します。 ○大事だと思う言葉や文を書きだして、段落ごとに小見出しをつける学習です。 ○二つのグラフを比べて分かったことを書き出し、2分間で話し合うにはどうすればよいか考えます。 ○絵を見て想像を広げ、二年生で習った漢字を使って、文を書きます。 ○グループで手分けして、音と訓を正しく使い分けた歌を作ります。 ○物語を読んで感想や課題をもち、一年間の学習をふり返って自分なりの学習課題や学習方法を考えて取り組みます。○生活の中で不思議に思った出来事など話し合い、調べることを決める学習です。 ○調べたいことを辞典や図鑑などから、報告書に書くことを収集します。

◇指導の工夫

<読書活動の充実>

- ・中学年では、幅広い分野の読書を行うことが大切です。そこで、メディアセンターだけでなく地域の図書館なども活用し、自分の興味を広げ、幅広い分野の読み物を数多く読むように指導を行っていきます。

<情報伝達力の育成>

- ・プロジェクターを活用してのプレゼンテーションやポスターセッションなど多様な伝え方を体験し、それぞれのメディアのもつよさや特徴をつかみ、相手にもっとわかりやすく伝えられるようにします。

<基礎基本の徹底>

- ・中学年では、書くことに関しては、ノート指導や作文指導などを通して、既習の漢字を用いて文字を美しく丁寧に書くことに加え、目的に応じてはやく書く習慣をつけることができるようにします。また、読むことに関しては、音読を授業で行うことはもちろん、家庭学習においても音読を行い、初見の文章でも抵抗なく読むことができるようにします。

◇評価観点

- ・国語に対する関心をもち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとしているか。
- ・相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりしているか。
- ・相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書いているか。
- ・目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読んでいるか。
- ・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解しているか。
- ・書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組立て方などを理解して文字を正しく書いているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『国語・三上・わかば』『国語・三下・あおぞら』（光村図書）
- ・『国語デジタル教科書3年』（光村図書）『わくわく古典教室』
- ・ワークシート 等

◇保護者のみなさまへ

- ・三年生の国語科の学習では、話の中心になることがらに気をつけて話を聞いたり、読んだりすることに重点をおいて学習を進めます。学校では風の時間に聴いたり、読んだりすることを続けていますが、ご家庭でも、読書の機会がもてますようご協力ください。また、調べたことなどが相手に伝わるように書いたり、話したりすることにも重点をおいています。ご家庭でも学校での出来事などの話を聞いていただき、話す体験を多く積んでいただきますようお願いいたします。
- ・三年生から書写は毛筆が始まります。筆ペンで年賀状を書くなど、筆に接する機会をもつていただくと、興味・関心がさらに深まります。
- ・三年生ではローマ字の学習をします。ローマ字はパソコンの入力でも利用しますし、ひいては中学校での英語学習の基礎にもなります。ご家庭でも、ローマ字表記を探すなどの活動を通して、興味や関心をもつことができるよう、声かけをよろしくお願ひします。

関西学院初等部 4年 国語科 シラバス 〔保護者用〕

◇4年国語科の目標

- ・相手の考えや願いを受けとめ、分かりやすく言葉を使いお互いに理解し合えるようにする。
- ・話の中心に気をつけて聞いたり、内容の中心をとらえながら読んだり、相手や目的に応じて、話題を考えながら表現したりできるようにする。
- ・言葉の魅力を感じられるようにする。
- ・短歌や俳句を音読し、文語の調子に親しむ。

◇4年国語科の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○詩を楽しもう ・春のうた ・いつも気をつけよう ・つづけてみよう ○音読げきをしよう ・白いぼうし ○漢字の組み立て ・漢字辞典の使い方 ○夏近し ○話し合いのしかたについて考えよう ・よりよい学級会をしよう ○読んで、自分の考えをまとめよう ・大きな力を出す 動いて、考えて、また動く ○漢字の広場 ○いろいろな意味をもつ言葉 ○調べたことを報告する文章を書こう ・読書生活について考えよう ○声に出して楽しもう ・一茶・蕪村など ○まちがえやすい漢字 ○物語を読んでしょうかいしよう ・一つの花 ○夏さかん ○新聞のとくちょうと作り方を知ろう ・新聞を作ろう ○漢字の広場 ○本は友達 ・本は友達 ・かげ ○期末テスト ※書写 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の様子を思い浮かべたり人物の気持ちを想像したりして音読します。 ○言葉のスケッチをつけることに興味をもち、年間継続して取り組みます。 ○場面の様子や中心人物の人柄をとらえ、どのように読めば思いやイメージが伝わるのか考えながら学習します。 ○漢字の部首について知り、漢字への興味を深めます。 ○漢字辞典に興味をもち、使い方を知って、学習に生かせるようにします。 ○季節の移り変わりや自然の変化に目を向けて、初夏を感じる言葉を集めます。 ○学級会や話し合い活動での失敗などを振り返り、「よりよい話し合いの仕方を考える」学習計画を話し合います。 ○段落相互のつながりや事実・説明・筆者の考えをとらえながら読み、筆者の考えについての感想をもつ学習です。 ○絵を見て想像を広げ、3年生で習った漢字を使って、文を書きます。 ○詩「とる」や例題を通して、多義語があることを理解する学習です。 ○知りたいことについて必要な事柄を工夫して、調べ、調べる方法、調べた結果、結果から考えたことを文章に書きます。 ○短歌や俳句を声に出して読み、五七調のリズムや美しい響きを味わいます。 ○平仮名で書くと同じになる言葉について理解します。 ○戦争時代の親子のお話です。場面の移り変わりに注意しながら、登場人物に気持ちの変化、情景など想像して読み取りながら、学習を進めます。 ○「夏」という言葉から思いつくものを書き集めます。 ○新聞の特徴と作り方を知り、記事にすることを決めて、伝えたいことが明確になるように文章を書きます。 ○絵を見て想像を広げ、3年生で習った漢字を使って、文を書きます。 ○いろいろな本や文書を、目的に応じた読み方で読む学習です。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○詩を楽しもう ・忘れもの・ぼくは川 ○カンジーはかせの漢字しりとり ○調べて発表しよう ・だれもがかかわり合えるように ・発表のしかた ○漢字の広場 ○読んで考えたことを話し合おう ・ごんぎつね ○秋深し ○慣用句 ○説明のしかたについて考えよう ・アップとルーズで伝える ○写真と文章で説明しよう ・「仕事リーフレット」を作ろう ○声に出して楽しもう ・子規、啄木など ○物語を読んで、感想文を書こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○表現されている内容や気持ちがよく分かるように音読します。 ○漢字しりとりを通して、漢字を正しく読んだり書いたりすることを楽しみます。 ○社会には様々な人が暮らしていることを確認し、点字ブロックなどを見て、だれのために作られているのか話し合いをします。 ○絵を見て想像を広げ、3年生で習った漢字を使って書きます。 ○キツネと狸師の物語です。場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて想像して読みます。 ○「秋」から思い浮かぶ言葉を集め、秋を取り入れた手紙を書きます。 ○慣用句を集め、使われ方や成り立ちごとに表などに整理する学習です。 ○それぞれの段落が、全体の中でどのような役割を果たしているのかを考えながら読みます。 ○書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落の相互関係に注意して仕事リーフレットを作成します。 ○短歌や俳句を声に出して読み、五七調のリズムや美しい響きを味わいます。 ○登場人物の性格や気持ちの変化、情景など想像して読む学習です。

	<ul style="list-style-type: none"> ・三つのお願い ○漢字の広場 ○言葉について考えよう ○期末テスト ※書写 	<ul style="list-style-type: none"> ○書こうとすることの中心を明確にし、理由を挙げて感想文を書きます。 ○絵を見て想像を広げ、3年生で習った漢字を使って、文を書きます。 ○文と文をつなぐ接続語の役割を知り、文章を表現する学習です。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ○詩を楽しもう ・のはらうた ○詩を書こう ・野原の仲間になって ○熟語の意味 ○春立つ ○科学読み物をしょうかいしよう ・ウナギのなぞを追って ○大事なことを落とさずに聞こう ・聞き取りメモの工夫 ○漢字の広場 ○聞いて楽しもう ・額に柿の木 ○調べて、まとめて、読み合おう ・「ことわざハンドブック」を作ろう ○漢字の広場 ○作品のひみつをさがろう ・初雪のふる日 ○学年末テスト ※書写 	<ul style="list-style-type: none"> ○情景を想像したり、好きな詩を選び理由を紹介したりします。 ○「のはらうた」で読んだ数編の詩を参考に、自分の詩を作ります。 ○熟語の意味を理解し、訓を手がかりにして熟語の意味を考える学習です。 ○「春立つ」の意味を考え、文語調の短歌や俳句を声に出して読みます。 ○事実と考察の関係を押さえて読みます。また、自分が興味をもったところなどを中心に文章を要約したり引用したりして紹介します。 ○メモをとった経験を話し合い、うまくいったときや失敗したときのことを整理して、メモの大切さを理解します。 ○絵を見て想像を広げ、3年生で習った漢字を使って、文を書きます。 ○昔から伝わる話を聞き、話のおもしろさや語り口調を楽しみます。 ○ことわざや故事成語の意味を知ります。 ○自分のアイデアを生かし、「ことわざハンドブック」を作成します。 ○絵を見て想像を広げ、3年生で習った漢字を使って、文を書きます。 ○「初雪のふる日」を読み、心に残ったことについて感想を交流し、作品の秘密を探る学習です。

◇指導の工夫

<読書活動の充実>

- ・中学年では、幅広い分野の読書を行うことが大切です。そこで、メディアセンターだけでなく地域の図書館なども活用し、自分の興味を広げ、幅広い分野の読み物を数多く読むように指導を行っていきます。

<情報伝達力の育成>

- ・プロジェクターを活用してのプレゼンテーションやポスターセッション、さらにはテレビ会議など多様な伝え方を体験し、それぞれのメディアのもつよさや特徴をつかみ、相手にもっとわかりやすく伝えられるようにします。

<基礎基本の徹底>

- ・中学年では、書くことに関しては、ノート指導や作文指導などを通して、既習の漢字を用いて文字を美しく丁寧に書くことに加え、目的に応じて早く書く習慣をつけることができるようにします。また、読むことに関しては、音読を授業で行うことはもちろん、家庭学習においても音読を行い、初見の文章でも抵抗なく読むことができるようにします。

◇評価観点

- ・国語に対する関心をもち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとしているか。
- ・相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりしているか。
- ・相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書いているか。
- ・目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読んでいるか。
- ・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解しているか。
- ・書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組立て方などを理解して文字を正しく書いているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『国語・四上・かがやき』『国語・四下・はばたき』（光村図書）
- ・『国語デジタル教科書4年』（光村図書）『わくわく古典教室』
- ・ワークシート 等

◇保護者のみなさまへ

- ・四年生の国語科の学習では、相手や目的に応じた読み方、書き方、話し合い方などに重点をおいて学習を進めます。グループや学級での話し合い活動や、調べたことの発表会などを通して、その場にふさわしい話し方や読み方、聞き方などを身につけていきます。その力は、学校での日々の指導に加え、ご家庭の協力によりさらに豊かなものになります。ご家庭でも、あらゆる機会を通してコミュニケーションの時間をもつていただくように、ご配慮願います。

関西学院初等部 5年 国語科 シラバス [保護者用]

◇5年国語科の目標

- ・相手の考えや願いをくみとり、効果的に言葉を使いお互いに理解し合えるようにする。
- ・相手の意図をつかみながら聞いたり、内容や要旨を把握しながら読んだり、目的や意図に応じて、話の筋道を考えながら表現したりすることができるようにする。
- ・言葉の魅力を味わえるようにする。
- ・伝統的な言語文化にふれながら、文語の調子に親しむ。

◇5年国語科の学習計画

	単 元 名	単 元 の 概 要
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○5年生の国語学習を始めよう <ul style="list-style-type: none"> ・丘の上の学校で ・あめ玉 ○感想を書こう <ul style="list-style-type: none"> ・のどがかわいた ○漢字の広場 ○季節の言葉 ・春から夏へ ○新聞を読もう ○漢字の成り立ち ○要旨をとらえて考えを発表しよう <ul style="list-style-type: none"> ・見立てる ・生き物は円柱形 ○声に出して楽しもう <ul style="list-style-type: none"> ・竹取物語 ・枕草子 ・平家物語 ○漢字の広場 ○「きくこと」について考えよう ○自分の生き方について考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・百年後のふるさとを守る ○敬語 ○活動を報告する文章を書こう <ul style="list-style-type: none"> ・次への一歩 一活動報告書 ○漢字の広場 ○季節の言葉 ・夏の日 ○期末テスト ※書写 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、それが表れるように読む速さ、強弱、声の調子、間の取り方を考えて音読します。 ○登場人物の心情に寄り添いながら、その変化に沿って物語を読み、自分なりの感想をもちます。 ○絵を見て想像を広げ、四年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。 ○語感について関心をもち、表現を工夫して俳句を作ります。 ○編集の仕方や記事の書き方に注意して、複数の新聞を読み比べます。 ○漢字の成り立ちについての知識をもち、漢字の形成文字の興味を深めます。 ○要旨をとらえて自分の考えを明確にしながらかき、筆者の考えや文章の書き方について理解を深めます。 ○古典の文章を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、昔の人のものの見方や感じ方についてふれます。 ○絵を見て想像を広げ、四年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。 ○話し手の意図が聞き取れるインタビューをしたり、受けたりします。 ○目的に応じて、本や文章を比べたり関連させたりして読み、考えたことを発表し合って、自分の考えを広げたり深めたりします。 ○日常よく使われる敬語（丁寧語・尊敬語・謙譲語を知り）使い方に慣れます。 ○目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理しながら活動報告書に書き表します。 ○絵を見て想像を広げ、四年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。 ○語感・言葉の使い方について関心をもち、表現を工夫して暑中見舞いを書きます。 ※文字の大きさや配列を考え、読みやすく書く学習です。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○詩を楽しもう <ul style="list-style-type: none"> ・われは草なり ○カンジー博士の暗号解説 ○自分の考えをまとめて、討論しよう <ul style="list-style-type: none"> ・話し合うために大切な言葉 ○和語・漢語・外来語 ○作品を自分なりにとらえ、朗読しよう <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんとガン ○漢字の読み方と使い方 ○季節の言葉 ・秋の空 ○説明のしかたについて考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・天気を予想する ○理由づけを明確にして説明しよう <ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表を引用して書こう ○同じ読み方の漢字 ○声に出して楽しもう ・論語 ○本は友達 <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの「図書館改造」提案 ・千年の釘にいとむ ○漢字の広場 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をするとともに、優れた叙述について、自分の考えをまとめていきます。 ○暗号解説を楽しみながら、同音の漢字を読んだり書いたりします。 ○話題を決めて、インターネットも活用しながら収集した知識や情報を関連づけ、互いの立場や意図をはっきりさせながら討論し合います。 ○和語・漢語・外来語についての知識をもち、言葉への関心を深めます。 ○行動描写・会話などから人物像を読みとり、作品全体を自分なりにとらえて朗読で表現します。 ○複数の音をもつ漢字の読み方や、特別な読み方をする熟語の知識を得ます。 ○季節の移ろい、天気を表す言葉の使い方について関心をもち、収集します。 ○筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について感想を出し合い、自分の考えを広げたり深めたりする学習です。 ○情報を整理する際に、引用したり図表やグラフを用いたりするなど、書き方を工夫しながら、統計資料を根拠とした意見文を書いていきます。 ○同訓異字・同音異義語について知り、言葉や漢字への興味を深めます。 ○漢文を音読し、漢文特有の言い回しやリズムを味わいます。 ○本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする学習です。 ○描かれた人物の生き方・考え方について感想をもちます。 ○絵を見て想像を広げ、四年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。

	<p>○聞いて楽しもう ・雪女</p> <p>○期末テスト</p> <p>※書写</p>	<p>○読み聞かせを聞きながら、登場人物の行動や場面の様子に想像を広げます。</p> <p>※点画の筆使いや文字の組み立て方を理解し、形を整えて書く学習です。</p>
三学期	<p>○詩を楽しむ方を見つけよう</p> <p>○自分の考えを明確にしながら</p> <p>・ゆるやかにつながるインターネット</p> <p>・書き言葉と話し言葉</p> <p>○漢字の広場</p> <p>○理由を明確にして、すいせんしたり、それを聞いたりしよう</p> <p>・すいせんします</p> <p>○複合語</p> <p>○季節の言葉 ・冬から春へ</p> <p>○物語を読んで、自分の考えをまとめよう ・わらぐつの中の神様</p> <p>○物語を作ろう</p> <p>○漢字の広場</p> <p>○学年末テスト</p> <p>※書写</p>	<p>○内容や描写をとらえ、自分なりにその詩のよさを楽しむ方法を考えます。</p> <p>○筆者の考えを理解し、それに対する自分の考えをもち、発表し合って広げたり深めたりする学習です。</p> <p>○共通語と方言、話し言葉と書き言葉の違いを理解します。</p> <p>○絵を見て想像を広げ、四年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。</p> <p>○推薦理由を明確にするために取材し、内容を整え、構成と表現を考えながら、スピーチ原稿を書きます。</p> <p>○友達に推薦したり、自分の考えと比べながら友達の推薦を聞いたりします。</p> <p>○複合語のでき方と組み合わせ方を理解します。</p> <p>○冬や初春を題材とした詩・俳句・短歌・歌などを集め、朗読して発表します。</p> <p>○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、友達と交流し合います。</p> <p>○物語のあらすじを考え、表現を工夫して物語を書いていきます。</p> <p>○新聞記者になって、今日一日の出来事を報道する文章を書きます。</p> <p>※筆順に従って、字配りよく書く学習です。</p>

◇指導の工夫

<読書活動の充実>

- ・高学年では、言葉にふれたり、自身の考えを広めたり、深めたりするために読書を行うことが大切と考えます。そこで、風の時間やメディアセンターの利用だけでなく、地域の図書館や資料館なども大いに活用するよう勧めます。自分に必要な図書資料を選んで、数多く読む機会がもてるように指導を行っていきます。

<情報伝達力の育成>

- ・デジタルビデオカメラやパソコンなどの機器を活用して、中間発表会・ミニ討論会などを行い、自分の伝え方を振り返り、自分の築き上げた考えや伝えたい内容に合ったメディアを選択して、効果的に発信できるようにします。その際には、互いの意見や考え、気持ちを大切に作る姿勢を大切にしておくことにも重点をおいて進め、場面や相手に応じた話し方ができるよう指導を進めます。

<基礎基本の徹底>

- ・高学年では、書くことについては目的に応じ、文字を美しく丁寧に早く書く習慣を身につけることに重点をおきます。小学校で学習する漢字を習得することはもちろん、進んで幅広く文字の知識を得る姿勢も育てるようにしていきます。また、読むことに関しては、音読の習慣化を図ると同時に、初見文章でも抵抗なく読むことができるように指導を行っていきます。

◇評価観点

- ・日常生活での言語活動に関心をもち、積極的に発表したり、話し合ったり、文章に表したり、幅広く読書を楽しもうとしているか。
- ・時、相手、場合、目的などに応じた話し方ができたり、相手の話の要点をつかんで、自分の考えや意見と照らし合わせながら聞いたりしているか。
- ・これまでに学習した漢字を適切に用いながら、文章の構成を考えて、他者に読まれることを意識して、丁寧に書いているか。
- ・筆者や作者の意図や思いを意識して聞き手に合わせて音読をしたり、物語の情景や文章の構成、言外の意味などを読み取ったりしているか。
- ・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解し、正しく用いたり、書写では学習したことを理解して文字を書いたりしているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『国語・五 銀河』（光村図書）
- ・『国語デジタル教科書5年』（光村図書）『わくわく古典教室』

◇保護者のみなさまへ

- ・五年生の国語科の学習では、自分の思いや考えを発信する活動に重きを置いています。相手により伝わるように話すこと（順序立てて話す、大事なところに注目する など）も身につけたい力です。これは日々の生活の中でも育っていく力です。日々の出来事を話したり、共有した経験についての感想を話し合ったり、それぞれの考えを出し合ったりという活動を通して、子どもは学習したことをよりよく活かせるようになります。様々な機会を設け、考えを深めていけるよう配慮いただけますよう、よろしくお願いいたします。

関西学院初等部 6年 国語科 シラバス [保護者用]

◇6年国語科の目標

- ・相手の考えや願いをくみとり、効果的に言葉を使いお互いに理解し合えるようにする。
- ・相手の意図をつかみながら聞いたり、内容や要旨を把握しながら読んだり、目的や意図に応じて、話の筋道を考えながら表現したりすることができるようにする。
- ・言葉の魅力を味わえるようにする。
- ・伝統的な言語文化にふれながら、文語の調子に親しむ。

◇6年国語科の学習計画

	単 元 名	単 元 の 概 要
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○せんねんまんねん ○続けてみよう ○自分の体験と重ねて読もう <ul style="list-style-type: none"> ・カレーライス ○漢字の広場 ○季節の言葉 ・春は、あたたか ○文章を読んで、自分の考えをもとう <ul style="list-style-type: none"> ・感情 ・生き物はつながりの中に ○学級討論会をしよう ○町のよさを伝えるパンフレットをつくらう <ul style="list-style-type: none"> ・ようこそ、わたしたちの町へ ○漢字の広場 ○伝統文化を楽しもう <ul style="list-style-type: none"> ・伝えられてきたもの・狂言「柿山伏」 ○漢字の形と音・意味 ○聞いて楽しもう <ul style="list-style-type: none"> ・河鹿の屏風 ○季節の言葉 ・夏は、暑し ○期末テスト ※書写 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの課題を決めて続けることに興味と意欲をもちます。 ○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめていきます。 ○絵を見て想像を広げ、五年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。 ○親しみやすい古典について内容の大体を知り、昔の人の文化にふれます。 ○文章の構成や表現から要旨をとらえるとともに、自分が生き物として生きることや、筆者の考えについて自分なりの考えをもちます。 ○賛否が分かれる問題について、それぞれの意見の長所・短所を分析的に考え、相手を説得する話し方を工夫したり、相手の論点を的確に聞き取ったりして、結論を導こうとして討論し合います。 ○パンフレットの様式の特徴を理解し、表現の効果を考えて文章全体の構成や、目次や見出し、リード文、解説文などを工夫して書いていきます。 ○絵を見て想像を広げ、五年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。 ○狂言を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ったり、時間の経過による言葉の変化に気づいたりしながら、伝統文化を楽しむ学習です。 ○漢字の組み立て部分が、音や意味を表すことを理解していきます。 ○「河鹿の屏風」の読み聞かせを聞きながら、登場人物の相互関係や心情、場面をとらえます。 ○「夏」を題材にした俳句や言葉を読み語感や使い方に対する感覚を磨きます。 <p style="text-align: center;">※文字の大きさや配列を考え、読みやすく書く学習です。</p>
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○短歌を作ろう <ul style="list-style-type: none"> ・たのしみは ・「とんぼ」の俳句を比べる ○漢字の広場 ○自分の考えを明確に伝えよう <ul style="list-style-type: none"> ・「平和」について考える ・平和のとりでを築く ○熟語の成り立ち ○生活の中の敬語 ○作品の世界を深く味わおう <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし ・イーハトーブの夢 ○漢字の広場 ○季節の言葉 ・秋は、人恋し ○ものの見方を広げよう <ul style="list-style-type: none"> ・『鳥獣戯画』を読む ○読みとったこと、感じたことを表現しよう <ul style="list-style-type: none"> ・この絵、わたしはこう見る ○漢字を正しく使えるように ○声に出して楽しもう・天地の文 	<ul style="list-style-type: none"> ○短歌や俳句のもつ表現の効果を確かめたり、工夫したりしながら作った作品を発表し合い、互いの表現のしかたに着目しながら助言し合う学習です。 ○絵を見て想像を広げ、五年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。 ○「平和」をめぐる自分の意見が説得力をもつように具体例や資料を集め、意見を明確に伝えるために文章全体の構成の効果を考えます。 ○意見文を書き、意見を主張するスピーチをします。 ○熟語の構成などについて理解を深めることができますようにします。 ○日常よく使われる敬語の使い方に慣れていきます。 ○場面についての描写をとらえ、作品の中で使われている表現を味わいながら、優れた叙述について自分の考えをまとめていく学習です。 ○宮澤賢治の伝記を通じ、賢治の生き方について考えたことを話し合います。 ○絵を見て想像を広げ、五年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。 ○「秋」を感じる言葉、漢詩、短歌、俳句を読み、語感を磨いていきます。 ○筆者が「鳥獣戯画」や絵巻の何をどのように評価しているのかが分かるころを探しながら読み、それに対する自分の考えや感想をまとめます。 ○事実と感想、意見などを区別するとともに、見た絵の様子を簡単に書いたり詳しく書いたりする学習です。 ○絵から読みとったこと、感じたことを伝える文章を書きます。 ○送り仮名や仮名遣いに注意して、漢字を正しく書いていきます。 ○古文の内容の大体を知り、特徴あるリズムを感じながら音読します。

	<p>○本は友達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしと本 ・森へ <p>○漢字の広場</p> <p>○期末テスト</p> <p>※書写</p>	<p>○さまざまなジャンルの本を読み、その特徴などを書いたり話したりして友達と紹介し合い、読書の世界を広げ深めていきます。</p> <p>○お互いの読書体験を聞き合い、自分の体験や考えと比べます。</p> <p>○絵を見て想像を広げ、五年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。</p> <p>※点画の筆使いや文字の組み立て方を理解し、形を整えて書く学習です。</p>
三学期	<p>○季節の言葉 ・冬は、春の隣</p> <p>○言葉について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉は動く <p>○随筆を書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめ直して <p>○カンジー博士の漢字クイズ大会</p> <p>○物語を読んで、考えを深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の命 <p>○漢字の広場</p> <p>○聞く人の心に届くように発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、わたしは、ぼくは <p>○卒業するあなたたちへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きる ・言葉の橋 <p>○学年末テスト</p> <p>※書写</p>	<p>○詩や短歌・俳句を音読や、「冬」をテーマにした作品を作ります。</p> <p>○文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想・意見などとの関係を押さえて自分の考えを明確にしたりしながら読みを深めます。</p> <p>○「随筆」という文章様式を知り、考えたことから書くことを決め、書く事柄を収集し、全体を見通して書く事柄を整理していく学習です。</p> <p>○紛らわしい送り仮名に気をつけて、読んだり書いたりすることができます。</p> <p>○「海の命」を読み、登場人物の相互関係を整理し、主人公「太一」がいろいろな人とのかかわりの中で成長していることを理解します。</p> <p>○絵を見て想像を広げ、五年生で習った漢字を使って、文や文章を書きます。</p> <p>○小学校生活を振り返り、いちばん伝えたいことが効果的に伝わるようにスピーチをします。</p> <p>○二編の作品を読んで感想や課題をもち、一年間の学習を振り返って自分なりの学習課題や学習方法を考え、取り組むことで、自ら学び、自ら考える力をつけます。</p> <p>※筆順に従って、字配りよく書いていく学習です。</p>

◇指導の工夫

<読書活動の充実>

- ・高学年では、言葉にふれたり、自身の考えを広めたり、深めたりするために読書を行うことが大切と考えます。そこで、風の時間やメディアセンターの利用だけでなく、地域の図書館や資料館なども大いに活用するよう勧めます。自分に必要な図書資料を選んで、数多く読む機会がもてるように指導を行っていきます。

<情報伝達力の育成>

- ・デジタルビデオカメラやパソコンなどの機器を活用して、中間発表会・ミニ討論会などを行い、自分の伝え方を振り返り、自分の築き上げた考えや伝えたい内容に合ったメディアを選択して、効果的に発信できるようにします。その際には、互いの意見や考え、気持ちを大切に作る姿勢を大切にしながら聞くことにも重点をおいて進め、場面や相手に応じた話し方ができるよう指導を進めます。

<基礎基本の徹底>

- ・高学年では、書くことについては目的に応じ、文字を美しく丁寧に書く習慣を身につけることに重点をおきます。小学校で学習する漢字を習得することはもちろん、進んで幅広く文字の知識を得る姿勢をもてるようにしていきます。また、読むことに関しては、音読の習慣化を図ると同時に、初見文章でも抵抗なく読むことができるように指導を行っていきます。

◇評価観点

- ・日常生活での言語活動に関心をもち、積極的に発表したり、話し合ったり、文章に表したり、幅広く読書を楽しもうとしているか。
- ・時、相手、場合、目的などに応じた話し方ができたり、相手の話の要点をつかんで、自分の考えや意見と照らし合わせながら聞いたりしているか。
- ・これまでに学習した漢字を適切に用いながら、文章の構成を考えて、他者に読まれることを意識して、丁寧に書いているか。
- ・筆者や作者の意図や思いを意識して聞き手に合わせて音読をしたり、物語の情景や文章の構成、言外の意味などを読み取ったりしているか。
- ・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解し、正しく用いたり、書写では学習したことを理解して文字を書いたりしているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『国語 六 創造』（光村図書）・『国語デジタル教科書6年』（光村図書）『わくわく古典教室』

◇保護者のみなさまへ

- ・六年生の国語科の学習では、お互いの思いや考えを交流する活動に重きを置いています。相手により伝わるように話すこと（順序立てて話す、大事なところに注目する など）も身につけたい力です。これは日々の生活の中でも育っていく力です。日々の出来事を話したり、共有した経験についての感想を話し合ったり、それぞれの考えを出し合ったりという活動を通して、子どもは学習したことをよりよく活かせるようになります。様々な機会を設け、中学校生活に向けて考えが深化できるよう、温かいご支援をお願いします。